

10年連続の黒字

特別会計及び企業会計

国民健康保険や介護保険、下水道事業などの特別会計の収入は合計で87億4,302万円、支出が84億5,317万円で、差引2億8,986万円の黒字になりました。

水道事業会計の収益的収支は、収入が5億9,110万円、支出が4億8,981万円となり、1億129万円の経常利益となりました。

区分	歳入	歳出
特別会計	87億4,302万円	84億5,317万円
国民健康保険	44億1,369万円	42億6,627万円
後期高齢者医療	3億9,914万円	3億7,857万円
介護保険	21億1,034万円	19億8,849万円
介護サービス	1,539万円	1,539万円
下水道事業	12億1,365万円	12億1,365万円
農業集落排水事業	5億9,080万円	5億9,080万円
水道事業会計	5億9,110万円	4億8,981万円

※表示単位未満を四捨五入しており、積み上げと一致しない場合があります。

一般会計

私たちの生活に関わりが深く、福祉、教育、土木など町の基本的なサービスを行うのが一般会計です。

29年度の一般会計の収入は、116億464万円で前年度より0.8%増え、支出は108億9,999万円で前年度より0.5%増えました。

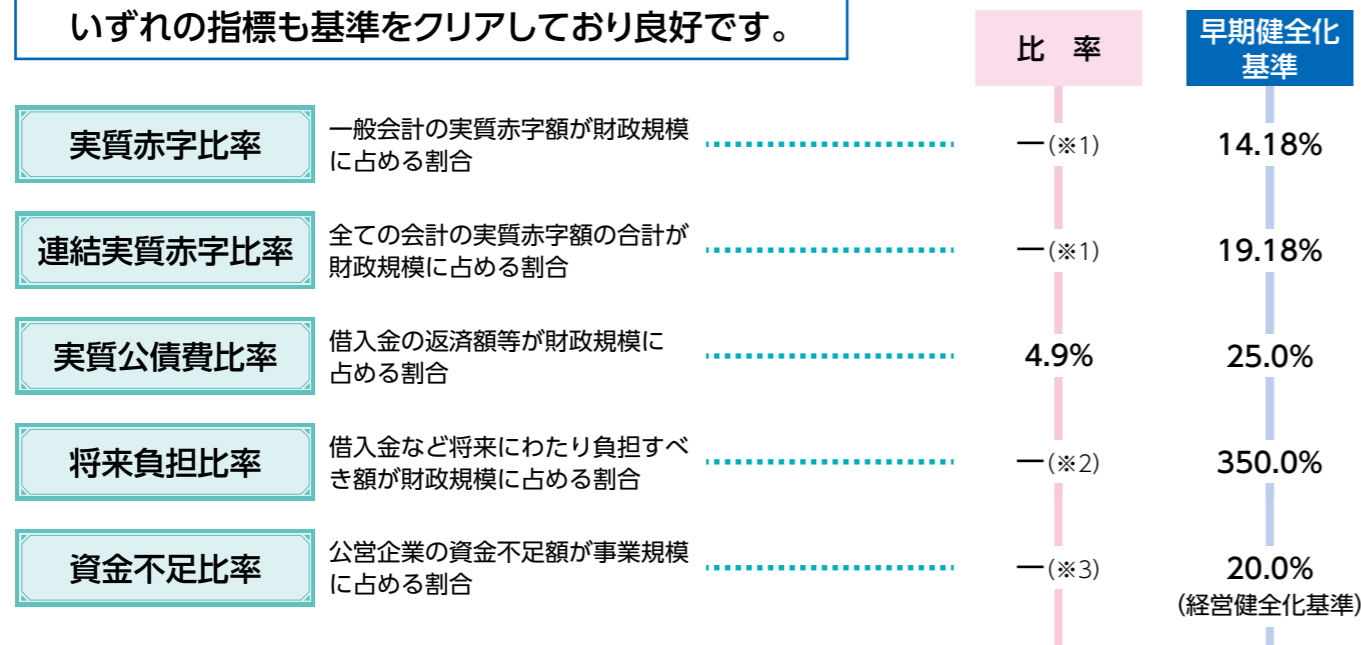
収入と支出の差額は、7億465万円ですが、ここから30年度へ繰り越した事業に必要な金額3,060万円を差し引いた実質収支は6億7,404万円の黒字となります。

財政健全化の指標

財政健全化法により自治体には、財政の健全性を表す指標の公表義務があります。早期健全化基準を超えると自主的な改善が義務付けられる「財政健全化団体」となります。

29年度決算に基づく財政指標は、いずれの指標も基準をクリアしており良好です。

いずれの指標も基準をクリアしており良好です。



※1 会計に赤字がないため、比率は算定されません。

※2 借入金残高などの将来負担額を基金残高などが上回ったため、比率は算定されません。

※3 会計に資金不足がないため、比率は算定されません。

歳入(収入)

116億464万円

町税	44億8,008万円
(内訳)	
町民税	20億641万円
固定資産税	20億112万円
都市計画税	1億9,741万円
たばこ税	1億8,153万円
軽自動車税	9,361万円

地方交付税	13億201万円
国庫支出金	11億6,670万円
町債	10億5,004万円
県支出金	10億4,858万円
繰越金	6億6,391万円
地方消費税交付金	5億4,100万円
繰入金	4億6,355万円
その他	8億8,878万円

歳出(支出)

108億9,999万円

民生費	35億2,263万円	子どもや高齢者、障がい者などのための福祉
総務費	17億9,321万円	財産管理や、総務・企画・税務事務など
教育費	14億9,285万円	小・中学校や幼稚園、生涯学習など
土木費	9億4,490万円	道路や公園の整備など
衛生費	8億4,320万円	ごみやし尿処理、保健衛生など
公債費	7億6,484万円	町債などの借入金の返済
農林水産業費	6億6,353万円	農業の振興や農地の整備など
消防費	4億9,246万円	消防活動や防災対策など
その他	3億8,236万円	

※表示単位未満を四捨五入しており、積み上げと一致しない場合があります。